



令和4年 10月
NO. 159



3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

師団訓練検閲

～各職種部隊が練成成果を発揮して任務完遂！～



各種行事・訓練

師団訓練検閲
令和4年度師団追悼式
連隊機動展開訓練
中部方面総監信太山駐屯地初度視察
師団集合教育「レンジャー」
第83回菊花賞演奏支援
一般幹部候補生課程普通科部隊等実習



第3師団隊員紹介コーナー

近畿の守り人
3Dレディー
ただ今奮闘中
趣味あり☑



2府4県近畿の旅

兵庫県「やまだの里」
～受け継がれる伝統の棚田～



職場の豆知識

「レトロモダン」



表紙写真：師団訓練検閲（第7普通科連隊・第3施設大隊・第3通信大隊）



各職種部隊が練成成果を発揮して任務完遂！



師団は、令和 4 年 10 月、第 7 普通科連隊（連隊長 前野 1 佐）、第 3 施設大隊（大隊長 林 田 2 佐）及び第 3 通信大隊（大隊長 秋川 2 佐）に
対し、あいば野演習場において、師団訓練検閲
を実施した。

本訓練検閲は、攻撃を主体とした戦術行動に
おける各職種部隊としての行動について、部隊
の教育訓練の成果（「各級指揮官の状況判断・基
本的行動」）を評価するとともに、今後の進歩
向上を促すことを目的として行った。

第 7 普通科連隊・第 3 施設大隊・第 3 通信大隊訓練開始式（あいば野演習場）

第 3 通信大隊



第 3 通信大隊長（秋川 2 佐）

第 3 施設大隊



第 3 施設大隊長（林田 2 佐）

第 7 普通科連隊



第 7 普通科連隊長（前野 1 佐）



通信障害の復旧



人員による障害処理準備



建物内の索敵・掃討



大隊指揮所活動



O 7 式機動支援橋の架設



ドローンを使用した偵察活動



顕彰碑に祀る殉職者153柱の在職間の功績を称え



御遺族による献花（顕彰碑前）



執行官追悼の辞

師団（師団長 荒井陸将）は、令和4年10月8日（土）、千僧駐屯地（兵庫県伊丹市）において、令和4年度師団追悼式を挙行了した。

追悼式は、近畿2府4県に深い関係のある殉職者153柱の在職間の功績を称え、その冥福を祈ることを目的に毎年実施している。また、部隊等が、志半ばで殉職された隊員の遺志を引き継ぎ、教訓事項を蓄積して、更なる部隊の発展を御霊の前で誓う場でもある。式には御遺族をはじめ、部内外来賓、隷下各部隊長、最先任上級曹長などが参列して執り行われた。

執行官 荒井陸将は、追悼の辞において「不慮の事故又は災禍により志半ばにしてその職に殉ぜられた御霊の御無念を思うと哀惜の念に堪えない」と述べるとともに、「近畿2府4県の防衛警備や災害派遣を担任する師団として、国防という大任に殉ぜられた御霊の崇高な志を受け継ぎ、隊員一人ひとりがもう一度、国防の使命と責任を自覚し、隊務に精励していく」と誓った。

追悼式の最後には、殉職者の御霊を悼む弔銃の銃声が会場に響き渡り、厳粛な式に終わりを告げた。



弔銃



隊員による献花



ベビーカーを使って水缶を運ぶ学生



装備品展示

本訓練に参加した第1中隊の坂谷2尉は「中隊の活動拠点の確認ができ、また、教育支援という形で普段関わることのない大学関係者と災害への意識を共有することができ、地域と一体となつて災害対処能力の向上を図ることができた」と語った。

令和4年10月20日（木）、第37普通科連隊は、和歌山大学において「連隊機動展開訓練」を実施した。

この訓練は、災害対処能力の向上を目的とし、和歌山大学の協力のもと、大学内施設に自衛隊の活動拠点を展開し、その実効性を検証するとともに、大学関係機関との連携強化を図った。

訓練では、駐屯地から大学までの前進経路を確認したほか、大学敷地内及び周辺地域の偵察活動を実施した。そのほか、和歌山大学の学生に対して自衛隊の装備品展示を行うとともに、「災害ボランティア学」の授業を支援した。災害等で断水となった際に、身近な物を使用して給水を受けられるようにするための方法などの体験型の教育を行い、学生たちも熱心に説明を聞いていた。

和歌山大学と連携して災害対処能力を強化

中部方面総監 信太山駐屯地初度視察

信太山駐屯地は、令和4年10月21日（金）、中部方面総監（堀井陸将）の視察を受けた。

総監は、儀じよう隊による出迎え、幹部挨拶及び信太山駐屯地司令の状況報告を受けた後、駐屯地に所在する各施設、営内居室等を視察し、隊務運営状況を確認した。総監は訓示において「指揮官は、『部隊を強く、隊員を幸せにする』こと、隊員は『一人ひとりが自分で考え、判断して行動し、どうすれば上司から言われた以上の成果を出せるか』ということを常に意識してもらいたい」と述べた。



営内巡視



儀じよう



訓示受け



部隊長との懇談



第36普通科連隊、第3施設大隊及び第3飛行隊の隊員5名は、隊員募集に関する情報を各地方協力本部に提供するとともに、募集対象者が入隊に至るまで親身に支援を行い、隊員募集に貢献したとして中部方面総監から褒賞を受賞した。

親身なつなぎで隊員募集に貢献



山地総合訓練（背負い搬送法）

第36普通科連隊は、令和4年9月から、師団集合教育「レンジャー」を実施中である。学生長の磯田3曹が核心となり、全員が最後まで脱落することなくレンジャー隊員になることを目指し、約7週間の基礎訓練に臨み、体力調整（体力向上運動）や各種潜入訓練を通じて切磋琢磨している。レンジャー学生は、基礎訓練終了後、約4週間の行動訓練へと移行し、基礎訓練で養った技能を活かしながら、より困難となる課目への挑戦を続けていく。

掴み取れ栄光のダイヤモンド



師団長訓話



レンジャー訓練体験

第36普通科連隊及び第37普通科連隊は、9月下旬から一般幹部候補生（B・U）に対し、普通科連隊における練成訓練、各種勤務、営内生活等を体験させたほか、師団訓練検閲の場における師団長訓話、師団指揮所の研修等を通じて、部隊の実情を理解させ、幹部としての地位と責任を自覚させた。

幹部としての部隊指揮の基盤を形成



会場を沸かせたファンファーレ



表彰式

第3音楽隊（隊長 今井1尉）は、令和4年10月23日（日）、阪神競馬場（兵庫県宝塚市）において開催された「第83回菊花賞」の演奏（ファンファーレ等）を支援した。支援に参加したホルン奏者の谷口士長は、「自衛隊のカッコいい統制美と第3音楽隊の演奏技術をPRできました」と笑顔で語ってくれた。

気高く響けファンファーレ

近畿の守り人

「冷静沈着に人命救助」

その瞬間、気づけば2人は動いていた。令和4年1月4日(火)、第37普通科連隊第4中隊に所属する小川3曹と寺峰3曹の2人は、休暇を利用して滋賀県と岐阜県の県境に位置する伊吹山へと登山で訪れていた。伊吹山は日本百名山にも選ばれた登山者に人気の山で、2人は雪が降りしきる中、懸命に頂上を目指していた。その最中に事故は突然起きた。前方で雪崩が発生し、巻き込まれる一般男性の姿を目撃した。

目撃した瞬間、直ちに駆け寄り、負傷等の状況を確認した。雪崩に巻き込まれた男性は、額から出血、腰や肋骨等の痛みを訴えており、即座に救急処置が必要と判断。2人は吹雪で視界と足場が悪い中、互いに声を掛け合いながら冷静に男性を避難小屋まで搬送した。寺峰3曹はこの時のことを「部隊での補助担架教育で学んだことが活かされた」と語っている。

その後、救急隊員が到着し、男性を無事に引き継ぐことができた。本紙取材の最後に2人は、「被災された男性の方から後日電話で御礼を言われました。令和5年1月に伊吹山に再挑戦します」と2人は力強く語ってくれた。



駐屯地朝礼で紹介を受ける
小川3曹(左)と寺峰3曹(右)

3Dレディー

「強い女性自衛官に」



第3高射特科大隊高射中隊
陸士長 宮田 彩那

第3高射特科大隊高射中隊に所属する宮田彩那(みやた あやな)士長へのインタビューです。宮田士長は、令和2年度に入隊した兵庫県たつの市出身の女性隊員です。

A Q 入隊の動機は。
就職に迷っていた時に兄が自衛隊に入隊し、その姿に憧れ入隊を決めました。

A Q 部隊の魅力・やりがいは。
元気で明るくとても親しみやすい部隊です。また、師団唯一の対空戦闘部隊として、日々新しい事を学び、良い経験をさせてもらっています。

A Q 心に残る経験は。
今年の対空実射訓練です。初めて指揮班・発電機手として参加し、訓練を皆で乗り越え、任務を完了した時は涙が出そうになりました。

A Q 尊敬する人は。
判断力と決断力に優れている指揮班・射撃手の岸田3曹です。私も岸田3曹のようにかっこいい自衛官になりたいです。

A Q 趣味は。
宝塚歌劇団を鑑賞することです。最近、はまり始め、今では鑑賞するのを楽しみに仕事を頑張っています。

A Q 今後の目標は。
体力検定で1級を取る事です。負けず嫌いな性格なので、女性だけでなく男性にも負けない体力づくりをしていきます。

A Q 最後に一言
男性自衛官にも負けない強い女性自衛官になれるよう、これからも日々精進していきます。

ただ今奮闘中

「精励恪勤」



第3後方支援連隊第1整備大隊
3等陸尉 早坂 優来

第3後方支援連隊第1整備大隊に所属する早坂優来(はやさか ゆうき)3尉へのインタビューです。

A Q 第何期で入校しましたか。
令和2年3月に第101期一般幹部候補生(20U・一般大卒)として入校しました。

A Q 幹部になったきっかけ(動機)は。
陸士時代、部隊で活躍する運用訓練幹部(女性自衛官)の姿に憧れ、幹部を目指しました。

A Q 幹部候補生学校での思い出は。
武装走が印象に残っています。豪雨の中、深い水たまりを息継ぎしながら匍匐前進したこと、決して忘れられません。

A Q どのような業務をしていますか。
中隊の運用訓練幹部の代行として、各種教育訓練に関する計画作成及び調整等を実施しています。

A Q 幹部としてやりがいをを感じる時は。
練成訓練において、計画を作成して実行に移し、部隊の練度向上を図ることができた時です。

A Q 幹部任官後、最も苦労したことは。
特にありません。毎日、新しい発見ばかりで楽しいです。

A Q 幹部になって何か変化はありますか。
自分のことより、部隊・隊員のことを優先するようになりました。

A Q 部隊等の隊員に一言
ふっつか者ですが、これからもよろしくお願いします！

趣味あり

「私の筋トレ」



第3通信大隊第1中隊
3等陸曹 白石 空良

私は、第3通信大隊第1中隊に所属している白石空良(しらishi そら)3曹です。私の趣味の「筋力トレーニング」を紹介します。

私が筋力トレーニングを始めたきっかけは、体力検定の結果が芳しくなく、先輩に教えていただいたことです。

始めた当初は、運動嫌いな性格と、筋肉痛が辛くて、楽しくありませんでした。しかし、二週間程続けていると段々と慣れてきたのか、1か月続ける頃には体格が変わっていきのがわかるようになり、次第に楽しくなってきました。

筋力トレーニングに魅力を感じられるのは、それが今の仕事にとっても活かされているからです。トレーニングを始めてからは、体力がついたことで余裕が生まれ、訓練を楽しめるようになりました。また、先輩からも動きが良くなったと褒めていただくことが増え、充実した勤務を送ることができています。

筋力トレーニングは、いつでもどこでも行うことができます。皆様も、やってみてはいかがでしょうか？



1 昼間の棚田の風景

2 ライトアップされた棚田

○所 在 地 兵庫県宍粟市一宮町東河内516
(センターみはらし周辺)

○期 間 ライトアップ 10月9日～12月8日
(時間帯 17:00～20:00頃)

○駐 車 場 兵庫県宍粟市一宮町東河内900-2

今回は、兵庫県宍粟市の「やまだの里」を紹介します。
やまだの里は、宍粟市の一宮町に所在し、日本の風景といわれる石垣の棚田が美しく広がる地域です。
棚田の景色を残そうと、先人たちが苦勞を重ねながら代々受け継いでいます。次の世代に残していこうと始めた活動が「棚田のあかり」です。この活動は、やまだの里の休耕田にPETボトルというLEDの照明器具を3000個設置し、4色の灯りが15分ごとにきらめき、夜の棚田に幻想的な世界を作り出します。
秋の風物詩ともなったこのライトアップイベント、地元の人々が守り続ける美しい棚田の風景を見に出かけてみてはいかがでしょう。

季節もすっかり変わりあちらこちらで紅葉がみられていくことと思います。
ちようど2年前の今頃、北海道で勤務していた私は、私有車で友人宅へ向かう際、ブラックアイスバーンでスピンし、救助が必要となる事態となりました。横断した車から何とか這い出し、スマホの様々な機能（特に自己位置の提供）により迅速に警察や救援を呼ぶことができた、無事に帰宅できました。スマホのない時代だったら、体力が続く限り歩いて助けを呼ぶ羽目になっていたと思います。
現代では、インターネットの発達や人工衛星等の恩恵もあり、多種多様な情報を短時間で入手することができるようになりました。戦場においても、人工衛星、UAV、監視器材、通信技術等の発達により、たくさんの情報を収集・提供等ができる時代となり、もはやハイテク技術ありきの状況となりました。
現場でも、こんなハイテクな時代なら偽装等のアナログな技術は無駄ではないかという声を聞くことがたまにありました。しかしながら、アナログ技術をないがしろにできない事象もあるのです。
例えば、人工衛星やUAVは、型式等にもありますが、上空から目視で人員、車両、陣地等を探しているのと変わらないような場合もあり、最終的には画像解析を実施する人間の技術や能力が問われるようなことも多々あるそうです。それゆえ、実物の大の模型や従来の植生等による偽装がかなり効果的な場合があります。



ハイテクな技術はもちろん素晴らしいですが、これまで培ってきたアナログな技術を組み合わせる活用できるようなしていくことも必要だと思えます。何事においても偏らず色んな手段を持てるように備えておくことが大切ですね。



2府4県 近畿の旅

このコーナーでは
知っているようで
あまり知らない
近畿2府4県の
観光スポットを
紹介します。

「やまだの里」
（受け継がれる伝統の棚田）



職場の ママ知識

「レトロモダン」



第3師団ホームページでは、過去の3師団だよりや、開催予定イベントの紹介などを逐次更新しています！

ツイッターも更新しているので、是非遊びに来てくださいね！

【QRコード】



ホームページ



Twitter



マスク着用

ソーシャルディスタンス

陸上自衛隊 第3師団 TEL. 072-781-0021

陸上自衛隊第3師団は、近畿2府4県（京都・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）の防衛任務、災害派遣等を主たる任務としております。

TOP PAGE トップページ INTRODUCTION 第3師団の紹介 REVISION COMMANDER 第3師団長の紹介 ACTIVITY CONDITION 活動状況 PR MAGAZINE 広報誌「第3師団だより」 HP LINK 関係部署・駐屯地等HP



Topics

■ 令和4年

NEWS

■ 令和4年9月30日 第3師団広報誌「第3師団だより158号（9月号）」を更新しました。

■ 令和4年8月29日 第3師団広報誌「第3師団だより157号（8月号）」を更新しました。

